



津山商業学校全景

(大正10年撮影)

苫田郡西苫田村の津山町立津山商業学校。現在の津山市山北の県立津山商業高校の創立時の名称で大正10（1921）年に完成したばかりの校舎を南から撮影したものです。同年3月31日に校舎が新築落成、5月14日に校舎落成式・開校式が行われ、この日が創立記念日と定められました。学校からは開校時から多くの人材が世に送り出されてきました。昭和初期には「剣豪の津商」と呼ばれるほど剣道の選手の活躍が見られました。

開校時のこの建物は2階建ての木造校舎で典型的な市内周辺の学校にはよく見られたものでした。右端には学校の正門が見られ立派な門柱が建てられています。その左横の道沿いには3段に積まれた石垣が設置されその上に土盛りが設けられているようです。建物で隠れて見えませんが、この右奥には旧津山藩別邸庭園として知られる名勝・衆楽園があります。

学校の道を挟んで手前の部分は水田のような耕地に見えますが、現在はこの部分は津山市役所がある所。完成した当時はこの周囲は水田地帯でこの学校から北の小原・上河原辺りまでは一面が農耕地で民家はほとんどなかったのです。

時が経ち、今はこの周辺は学校や住宅の密集地として変ぼうしてきましたが、この津山商業高校は今年創立93年、ますます県北の商業教育の拠点校として一翼を担うことでしょう。